

## 音楽学部・人文学部・人間発達学部教員年次研究報告書

(2006年1月～12月)

本学教員の教育研究活動の一部を学内外に報告することを目的として、例年どおり「研究論集」に「教員年次報告」を掲載いたしております。大学の自己点検・自己評価に役立てることができれば幸いです。(掲載はアイウエオ順)

### 【音楽学部】

石村真紀

1. 『地域実践心理学・実践編』ナカニシヤ出版 2006年3月 共著
2. 『あなたに伝える～音楽療法のエッセンス 生きたセッションを体験するために』音楽之友社 2006年4月 単著

(出演・講演その他)

1. Free Improvization の饗宴  
石村真紀 (Piano) 荒崎英一朗 (Sax) 松田広司 (Dr) 2006年2月28日  
Meiden Vyoge (神戸・六甲)
2. 日本音楽療法学会 第5回近畿学術大会 大会長 2006年3月25日 相愛大学
3. ラジオ関西 特別番組「響きあう心の声～音楽療法～」出演 2006年5月30日
4. 発達科学シンポジウム [即興・表現・生]—音楽を中心軸として即興表現の意味を考える— 神戸大学発達科学部 2006年8月18日 (シンポジスト・パフォーマー)
5. (講演) ミュージックセラピー研究会 東京セミナー「聴くこと」東邦音楽大学 2006年8月5日6日
6. (講演・スーパービジョン) 平成18年度第2びわこ学園公開講座「音・音楽によるコミュニケーション—音楽療法—」2006年11月18日
7. Piano & Marimba 即興 Live 共演: 石原興子 京都プロアルテホール 2006年12月21日

\*主な活動: 兵庫県音楽療法士認定審査委員、日本音楽療法学会評議委員

\*主な研究課題: a. 発達障害をもつ小児の臨床

b. 即興と表現活動の臨床的意義の研究

小 栗 まち絵

1. いずみシンフォニエッタ大阪第 12 回定期演奏会 2006 年 3 月 30 日 いずみホール プロコフィエフ：ヘブライの主題による序曲、ストラヴィンスキー：「兵士の物語」
2. ヴィオラスペース 2006 2006 年 5 月 20 日 フェニックスホール、2006 年 5 月 21 日 しらかわホール モーツァルト：二重奏曲 第 2 番 共演：店村眞積
3. ヴィオラスペース 2006 2006 年 5 月 25 日 26 日 紀尾井ホール モーツァルト：弦楽五重奏曲 ニ長調 k 593、ト短調 k 516 共演：川崎雅夫・菅沼準二・川本嘉子・原田禎夫
4. サイトウキネンオーケストラコンサート 2006 年 9 月 9 日 11 日 12 日 長野県松本文化会館 ショスタコーヴィチ：交響曲第 5 番、ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 5 番、指揮：小澤征爾 ピアノ：内田光子
5. ウィーン・フィル・トップメンバーといずみシンフォニエッタ大阪 2006 年 11 月 15 日 いずみホール バッハ（ウェーベルン編）：6 声のリチェルカーレ、ベートーヴェン：交響曲第 6 番「田園」他
6. 春秋座アンサンブル・シリーズ 2006 年 12 月 2 日 京都芸術劇場「春秋座」ショスタコーヴィチ：弦楽八重奏のための二つの小作品、モーツァルト：フルート四重奏曲 第 1 番、メンデルスゾーン：弦楽八重奏曲変ホ長調、共演：松実健太・高木綾子他

\* 主な研究課題：バッハから現代に至るヴァイオリンを含む作品及びその演奏法の研究

佐 藤 康 子

1. 「公開レッスン」2006 年 6 月 3 日 那須ハーモニーホール
2. 「リサイタル “歌わが心の故郷”」2006 年 6 月 25 日 大東市立文化ホール
3. 「中之島国際音楽祭 “歌わが心の故郷”」2006 年 9 月 18 日 中之島中央公会堂
4. 「シモンズコンサート」2006 年 12 月 13 日 代官山ヒルズ

奈 良 希 愛

\* 主な活動（演奏、研究）

1. ソロリサイタル 1 月 16 日（香川／四国村）
2. ピアノコンクール審査 2 月 3・4 日（岐阜／大垣市）

3. 室内楽コンサート 2月22日(ドイツ)
4. 日本ピアノ教育連盟全国大会研究会出席 3月30・31日
5. 演奏会出演 4月20日(東京/津田ホール)
6. 相愛コンサート出演 4月26日(南港ホール)
7. 相愛コンサート出演 6月6日(南港ホール)
8. ソロリサイタル 6月16日(東京/銀座ヤマハ)
9. ソロ演奏会出演 10月5日(大阪/フェニックスホール)
10. アウトリーチ活動 10月11~14日(宮崎/清武町)
11. ソロリサイタル(モーツァルト父子をテーマに) 10月14日(宮崎)
12. 相愛コンサート出演 10月26日(本町講堂)
13. NHK-BS“びあのピアノ”収録 11月17日(放送2007年2月予定)
14. 浜松国際ピアノコンクールにて インタビュアーとして活動 11月18~19日
15. ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉と共演 11月26日(千葉)
16. アウトリーチ活動 11月30日~12月2日(兵庫/朝来市)
17. お琴とのデュオコンサート 12月9日(兵庫)

(執筆活動)

- 音楽雑誌『ショパン』連載“教授達のレッスン室”(1月号~12月号)
- 音楽雑誌『ムジカノーヴァ』執筆(シューマンの謝肉祭について5月号)
- 音楽雑誌『ムジカノーヴァ』執筆(ピアニストとスポーツ12月号)
- 音楽雑誌『ショパン』執筆(受験対策12月号)

### 三 谷 美智子

1. 日韓合同ロータリー例会コンサート 共演:高橋敏仁 天王寺都ホテル  
2006年2月25日
2. 学術実習研修「呼吸に関わる筋肉とそのトレーニング」講師 日本声楽発声学会関西支部第35回研修会 共演:医師谷山誠賢 相愛学園本町学舎  
2006年4月23日
3. ヴォイストレーニング&日本歌曲通年講座講師 日本音楽教育振興協会主催 大阪市民学習センター 2006年4月~2007年3月
4. ヴォイストレーニング指導者養成通年講座講師 日本声楽発声学会関西支部主催 相愛学園本町学舎 2006年2月~12月
5. ヴォイストレーニング(初級・中級)夏期講座講師 日本声楽発声学会関西支部主催 奥軽井沢径楽林 2006年8月3~5日/三谷事務所 2006年

8月29日 共演講師：林廣子

6. NHK 学校音楽合唱コンクール（第72回）近畿ブロック審査員 NHK 大阪ホール 2006年9月9～10日
  7. 学術実習研修「呼吸に関わる筋肉とそのトレーニング（その2）」講師 日本声楽発声学会関西支部第36回研修会 共演：医師谷山誠賢 相愛学園本町学舎 2006年10月22日
- \*主な活動：日本声楽発声学会関西支部理事  
日本音楽教育振興協会常務理事 事務局長  
所属団体：関西二期会
- \*研究課題：a. ベルカント唱法に於ける医学的科学的解明と演奏及びその指導法の確立  
b. ヴォイストレーニングの団体レッスンの確立

## 【人文学部】

相 谷 登

1. 「子どもの立場から面接交流を考える」家庭問題情報誌『ふぁみりお』（社）家庭問題情報センター 第39号 1-4 2006年10月
  2. 「母親の就労の有無と親子関係」日本家族心理学会第23回大会（口頭発表）
  3. 「高校生の問題行動の現状とその理解」大阪府私学生徒指導連盟第8支部研修（講師） 2006年2月
  4. 「女子高校生の問題行動と親子関係」大阪府中河内地区私立女子高等学校連盟特別研修（講師） 2006年3月
- \*主な活動：a. 家族心理士・家族相談士資格認定機構審査員  
b. 大阪府虐待防止アドバイザー養成事業企画委員

新 井 俊 一

1. 「ガンディーとアンベドカルー非暴力的抗争と平和の構築ー」『相愛大学研究論集』第22巻 2006年3月 1-16.
2. 国際真宗学会ヨーロッパ支部会（ドイツ・デュッセルドルフで開催）で“Shinran's View of Transmigration”（親鸞の輪廻観）を口頭発表 2006年8月22日

(講演)

1. 2006年2月5日 山梨県ぞうクラブ研修会(甲州市願生寺にて)「ご縁について」
2. 2002年2月8日 津村別院 浄土真宗僧侶研修会「仏教における非戦の精神」
3. 2006年2月25日 九州龍谷短期大学公開講座「人生の放浪と、浄土真宗との出遇い」
4. 2006年4月15日 相愛大学市民仏教講座「釈尊と阿弥陀仏」
5. 2006年4月29日 名古屋西別院本願寺名古屋別院・土曜講座「外国人の中に生きるお念仏」
6. 2006年5月13日 相愛大学市民仏教講座「法との出遇い」

- \*主な活動：a. 本願寺仏典翻訳事業校閲委員  
b. 大阪外国語大学後援会会長

石川 玲子

1. 「“Liminars”の孤独－Katherine Mansfieldと3つの短編－」『相愛大学研究論集』第22巻 2006年3月
2. 「ヴァージニア・ウルフ『船出』における「異界」の意味」、玉井暲、新野緑共編、阪大英文学会叢書3『〈異界〉を創造する－英米文学におけるジャンルの変奏－』英宝社 2006年11月

- \*主な研究課題：a. Virginia Woolf 研究  
b. Katherine Mansfield 研究

江草 浩幸

1. 「視覚－体性感覚のクロスモーダル特性とその脳内過程の検討」平成16-17年度科学研究費補助金研究成果報告書(基盤研究C、課題番号16530481) 2006年3月

- \*主な研究課題：a. 刺激－反応適合性効果  
b. 色彩の心理的効果  
c. 変換された視野への適応過程  
d. 触覚・体性感覚における空間定位錯誤

嘉戸 一将

- \*主な研究課題：a. 明治憲法体制における正統性の問題

- b. 1930年代から1940年代の法学と哲学における主権論の諸相
- c. 明治憲法体制における近代的個人主義の問題
- d. アーカイヴズ論

\* 主な活動：平成18年度科学研究費補助金（基盤研究（B））共同研究「大学所蔵の歴史的公文書の評価・選別についての基礎的研究」、研究分担者

#### 北 崎 契 縁

\* 主な活動：吉村宏一・岩井学ほか、『D. H. ロレンス書簡集 IV 1913』（松柏社、2007年3月刊行予定）各手紙の翻訳とその点検作業に集中して参加した。

\* 主な研究課題：ロレンス書簡集の翻訳（1914年、書簡集のV巻目）の編集者として、ロレンス研究会（京都）で翻訳作業に当たっており、2007年度に出版予定である。また、ロレンスの旅行記の1つである *Mornings in Mexico*（1920-24）の輪読とその解釈を巡る研究を進めている。

#### 北 野 裕 通

1. 「京都哲学と労作教育」『相愛大学研究論集 22』2006年3月
2. 『禅と京都哲学』（編著）燈影舎 2006年8月
3. 「京都哲学の教育思想に学ぶー労作と人間形成ー」長野市教育会夏季大学 2006年7月
4. 「西田の触れた実在の真相」石川県西田幾多郎記念哲学館夏期哲学講座 2006年8月
5. 「『歴史的な身体』を読む」同上。

\* 研究課題：a. 禅と京都哲学  
b. 宗教的行法に基礎をおいた身体論の研究

#### 木下（森光）有子

1. 「小学校英語教育を考えるー児童英語教育におけるカタカナ語の影響に焦点を当ててー」『相愛大学研究論集』第22巻（共著）2006年3月

\* 主な研究課題：a. 認知と言語の関係  
b. 英語と日本語の比較研究

c. 日本における言語教育

呉 谷 充 利

1. 「生としての都市－中之島をあるく－」『相愛女子短期大学研究論集』第 53 巻 pp. 25-124 平成 18 年 1 月
  2. 講演「志賀直哉、『サロン』の日溜まり」於：白樺文学館 平成 18 年 4 月 21 日
  3. 「中之島から大阪が見える－生としての都市－」公開講座 相愛大学人文科学研究所 平成 18 年 10 月 7 日
  4. 「住友吉左衛門友純と府立図書館－芸術としての明治（継承された近世大坂）」明治の精神研究会 研究発表 相愛大学人文科学研究所 平成 18 年 10 月 25 日
- \* 主な活動：Le Corbusier, une encyclopédie 共訳（2006 年度日本学術振興会科学研究費研究成果公開促進による。）

桑 原 義 登

1. 「児童福祉司と子ども・家族支援」『現在のエスプリ 472 司法臨床～法と臨床の交差点～』編集廣井亮一 PP. 140-148 至文堂 2006 年 11 月
- \* 主な研究課題：a. 最近の子どもの問題行動とその背景  
b. 児童虐待による子どもへの影響と支援方法  
c. 発達障害児者のライフサイクルを通じた支援方法
- \* 主な活動：a. 日本臨床心理士会代議員・和歌山県臨床心理士会会長  
b. 和歌山子どもの虐待防止協会副会長  
c. 和歌山県いのちの電話協会及び紀の国被害者支援センター理事  
d. 和歌山県精神保健福祉センターこころの緊急支援活動  
e. 和歌山県社会福祉協議会理事  
f. 日本地域福祉学会地方委員

紅 椽 英 顕

1. 「浄土真宗における往生の主体」『日本仏教学会年報』第 71 号、2006 年 5 月
- \* 研究課題：浄土真宗の教義安心の研究
- \* 活動報告：a. 真宗教義研究会「浄土真宗を学ぶ会」、同「無倦会」講師

- b. 伝道活動（ホームページに依る全世界、日本国内の真宗寺院）
- c. 日本仏教会理事、龍谷大学真宗学会評議員、龍谷教会会議地区委員

佐々木 豊

1. 「太平洋問題調査会と第2トラック外交」『相愛大学研究論集』22巻 2006年3月、pp. 109-140.
  2. 日本現代中国学会 2006年度関西部会大会（於関西大学、2006年6月4日）コメンテーター（根岸智代「太平洋問題調査会第六回ヨセミテ会議にみる「中国問題」の新段階」に対するコメント）
  3. アメリカ学会第40回年次大会（於南山大学）自由論題B 報告（2006年6月10日）「“赤狩り”時代のエドワード・カーター（太平洋問題調査会元事務総長）と市民的自由」
  4. 太平洋問題調査会（IPR）研究所 第3回研究例会報告（於早稲田大学、2006年12月9日）「IPR研究の現代（史）的意義に関する一考察－第二トラック外交の観点を中心に」
- \* 主な研究課題：アメリカ合衆国の対外政策形成過程における「国家－民間ネットワーク」の役割の実証的分析

佐野 正彦

1. 共著『新版 専門高校の国際比較 日欧米の職業教育』法律文化社、2006年4月
  2. 共著『不安定を生きる若者たち－日英比較 フリーター・ニート・失業』大月書店、2006年10月
  3. 「若年労働市場政策としての若者就労支援政策の特徴と問題」『若年者の学校から雇用への移行過程の実態と支援政策に関する実証的研究』（平成16年度～平成17年度、科学研究費補助金（基盤研究C）成果報告書、代表乾彰夫）、2006年3月
  4. 共著「NEET, Freeter and Employed: the Japan Report（欧文）」『若年者の学校から雇用への移行過程の実態と支援政策に関する実証的研究』（平成16年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究C）成果報告書、代表乾彰夫）、2006年3月
- \* 主な研究活動：a. 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）「現代イギリスの若年労働市場の変容と『学校から雇用への移

行に関する実証的研究』(2005~2007年)代表

- b. 日本教育学会特別課題研究、平成17-18年度、「変容する青年期に関する総合的研究」(代表佐藤一子)を遂行中
- c. 日本教育学会第65回大会、特別課題研究「変容する青年期に関する総合的研究」2006年8月25日にて研究報告

鈴木 徳 男

- 1. 『俊頼髓脳の研究』思文閣出版 2006年3月
  - 2. 「源師房「初冬扈從行幸、遊覧大井河。応製和歌」序注(中)」『相愛大学研究論集』第22巻 共著 2006年3月
  - 3. 「橋本不美男一和歌史研究への情熱と執念一」田中登・松村雄二編『戦後和歌研究者列伝一うたに魅せられた人びと一』笠間書院 2006年11月 和歌文学会五十周年記念出版
  - 4. 「古典籍つれづれ~春曙文庫など~」私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会平成18年度第1回研修会 講演録 2006年5月
- \*主な研究課題: 平安後期の歌集・歌学書の研究
- \*主な活動: a. 和歌文学会委員(論集編集委員)  
b. 佛教文学会委員  
c. 俊頼髓脳研究会事務局

砂 川 博

- 1. 「『一遍聖絵』巻一の詞と絵」『時衆文化』第13号、30~62P、2006年4月
  - 2. 「琵琶法師と時衆-安養寺旧蔵『年中行事』をめぐる-」『時衆文化』第13号、73~83P
  - 3. 「『一遍聖絵』巻二の詞と絵」『時衆文化』第14号、29~85P、2006年10月
  - 4. 「此僧は日本一の狂惑のものかな-『一遍聖絵』巻3第1段を読む-」口頭発表 第7回時衆文化研究会、12月3日(日) 於藤沢市遊行寺
- \*主な研究課題: a. 『一遍聖絵』と初期時衆教団史の研究  
b. 『平家物語』の成立研究

高 木 学

1. エッセイ「プロローグ 日常の中の移動」『移動という風俗』現代風俗研究会年報 2006

千 葉 真 也

1. 口頭発表「『国号考』の成立について」第23回鈴屋学会大会 研究発表会 2006年4月)
  2. 講演『古事記伝の完成』平成18年度宣長十講 寛政年間の宣長 2006年12月
  3. 講演「江戸時代の大阪」相愛大学人文科学研究so公開講座 2006年11月4日
- \*主な研究課題：本居宣長を中心とする国学の実証的研究
- \*学外活動：a. 鈴屋学会常任委員、学会報編集委員長  
b. 日本近世文学会『近世文藝』編集委員長

Teresa Bruner Cox

Publications and Presentations :

1. Article  
“Japanese Students in North American Universities : Academic Challenge and Strategies for Success.” *Soai Ronshu* 22, March 2006.
  2. Presentation  
“Preparing Japanese University Students for the Academic Challenge of Study Abroad.” Society for Intercultural Education and Research (SIETAR Japan), 21<sup>st</sup> Annual Conference ; July 1, 2006 (Kashiwa, Japan).
- \* Research Topics :
- a. Japanese university students and study abroad
  - b. American mystery writers : race and setting in American detective fiction ; Los Angeles as a setting for detective fiction in the 20th century.
  - c. Using film to teach Intercultural Communication.

戸 口 愛 泰

1. 高木修・戸口愛泰「「絆」の光と影-「絆」のイメージとその構造に基づく

「絆」尺度の作成－』『関西大学社会学部紀要』37(2), pp. 3-28. 2006年3月

2. 戸口愛泰・高木修「「絆」の光と影：(3) 信頼性の検討」日本グループ・ダイナミックス学会第53回大会 2006年5月
3. 戸口愛泰・高木修「「絆」の光と影：(4) 満足度の検討」日本社会心理学会第47回大会 2006年9月

\*主な研究課題：母子間の絆に関する社会心理学的研究

鳥井正晴

1. 「句あるべくも6」『門』第12号 鎌倉漱石の會 2006年3月3日
2. 「「引っ懸りだらけ」の世の中でも一芸究め哲学者の顔に－」『毎日新聞夕刊』2006年6月16日
3. 「宮蘭美佳著『濠虚集』論考』に、寄す」『濠虚集』論考』和泉書院 2006年6月
4. 「漱石漢詩「読み下し」・「語註」・「解説」『中国語で聴く夏目漱石漢詩選』鎌倉漱石の會編集 2006年7月

\*主な研究課題：漱石文学全般 日本近代文学全般

西迫成一郎

1. 「人と関わる（集団）」中里至正・松井洋・中村真編著『心理学の基礎を学ぶ』八千代出版 149-164 2006年2月
2. 「現代社会と健康心理」小林芳郎編著『健康のための心理学』保育出版社 112-115 2006年4月
3. 「社会的公正判断過程における公正さの基準の分析－社会的公正判断過程に関する研究（2）－」（共著）『関西大学総合情報学部紀要 情報研究』第25号 3-33 2006年7月

\*現在の研究課題：メンタルヘルス 社会的公正感 母語教育

橋元淳一郎

1. 「時間の創造」『相愛大学研究論集』第22巻 2006年3月
2. 『物理数学ノート』講談社 2006年6月
3. 『時間はどこで生まれるのか』集英社新書 2006年12月

\*主な研究課題：a. 時間論 b. 科学論 c. 物理教育

藤 谷 忠 昭

1. 「管理社会における電子政府について」『相愛大学研究論集』22 巻 193-211.
2. 「市民的リフレクシオンの実践—O—ネットの活動—」(2006 年 10 月 29 日・第 79 回「日本社会学会」大会・福祉・保健・医療 (4) 部会報告)
  - \* 主な活動：介護保険市民オンブズマン
  - \* 主な研究課題：a. 科学研究費助成プロジェクト「変動期社会における離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究」  
b. 特別養護老人ホームに対する第三者評価に関する研究  
c. 行政主導のまちづくり会議についての参与観察による研究

本 多 至 成

1. 『正量部の業思想』2006 年 3 月 京都永田文昌堂
2. 『法句譬喩経講讀』2006 年 7 月 京都永田文昌堂
3. 研究発表「法句譬喩経について」安居大衆会 7 月 17 日～30 日 於龍谷大学大宮本館講堂
4. 市民仏教講座「原始経典のことば」2006 年 10 月 28 日
  - \* 主な研究課題：a. アピダルマ思想の研究  
b. 敦煌を中心とする西域文献研究
  - \* 主な活動：ボランティア活動  
アジア協会のメンバーとしてボランティア活動を支援。  
日本ボーイスカウト連盟八尾第一団育成会会長として団活動を支援。  
本願寺派スカウト連盟委員・大阪教区スカウト指導者会理事として奉仕活動を支援。

益 田 圭

1. 『人権年鑑 2005-2006』解放出版社 2006 年 3 月 part 2 「2004 年の動向」  
2 「部落問題」第 1 章「意識調査」執筆
2. 「差別に関わる心理メカニズム —差別・偏見・ステレオタイプ—」茨木市人権問題研修会 (講師) 2006 年 1 月 30 日
3. 「差別に関わる心理メカニズム」箕面市人権セミナー (講師) 2006 年 2 月 2 日

- \* 主な活動：a. 「人権教育啓発プログラム開発研究会」（大阪市委託事業）
- b. 「人権意識の現状と変化の実態をふまえた人権教育推進のための重要課題の調査事業」文部科学省「平成 18 年度人権教育推進のための調査研究事業」モデル事業

## 山下 昇

1. 記事「人災のニューオーリンズー超大国の貧困と差別ー」季刊『人間と教育』第 49 号 旬報社 2006 年 3 月
2. 共編著『20 世紀アメリカ文学を学ぶ人のために』「序 20 世紀アメリカ文学の見取り図」「あとがき」等 世界思想社 2006 年 10 月
3. 松本 昇他編『アフリカ系アメリカ人事典』「グレート・マイグレーション」等 13 項目執筆 南雲堂フェニックス 2006 年 12 月
4. 講演「アメリカ黒人文学の中の都市」2006 年 11 月 11 日 相愛大学人文科学研究so公開講座

\* 主な研究課題：アメリカ・マイノリティ文学

- \* 主な活動：日本英文学会全国大会研究発表司会 2006 年 5 月 20 日 中央大学、日本ウィリアム・フォークナー協会第 9 回大会研究発表司会 2006 年 10 月 13 日 青山学院大学、日本アメリカ文学会第 45 回大会研究発表司会 2006 年 10 月 14 日 法政大学、日本ウィリアム・フォークナー協会評議員、日本アメリカ文学会大会運営委員、日本アメリカ文学会関西支部評議員

## 山本 和明

1. 「正本写『松の栄千代田の神徳』の周縁」『国文学研究資料館紀要 文学研究篇』32 号 pp. 185-208 2006 年 2 月
2. 「明治期出版関連資料一端ー「校正日本外史」刊行を巡ってー」『相愛大学研究論集』22 巻 pp. 53-64 2006 年 3 月
3. 叢書「リプリント日本近代文学」第 2 期『恋相場花王夜嵐』『朋友茶物語』『橋供養梵字文覚 新皿屋鋪月雨暈』『徳川東国武勇伝』『小栗判官代一代記初編』各単著解題執筆 国文学研究資料館発行 平凡社発売 2006 年 5 月
4. 国文学研究資料館 2006 年度秋季特別展「仮名垣魯文百覧会」展示目録「毎日新聞社新屋文庫蔵魯文関連資料の紹介」全般の執筆 (pp. 28-38) ほか。
5. (発表)「恋相場花王夜嵐」研究 仮名垣魯文研究会第 4 回大会 2006 年 1 月

6. (発表)「魯文く関」ということー「金花胡蝶幻」を中心にー 仮名垣魯文研究会月例会 2006年3月
  7. (発表)新屋文庫『春色柳桜筋』をめぐる 仮名垣魯文研究会第5回大会 2006年7月
  8. (発表)平成18年度国文学研究資料館シンポジウム「江戸から明治へー仮名垣魯文を中心としてー」の基調報告「憧憬と継承ー魯文の果たしたこと」 2006年10月20日
  9. 講演(社会貢献)平成18年度大阪市いちょう大学(大阪市立総合生涯学習センター主催)「大阪の文学」講師として「井原西鶴と大阪」(6/12)・「松尾芭蕉と大阪」(6/19)・「近松門左衛門と大阪」(7/10)於大阪市立城北市民学習センター
- \*主な活動:
- a. 科学研究費基盤研究B1「原典資料の調査を基盤とした仮名垣魯文の著述活動に関する総合的研究」(研究代表者谷川恵一)研究分担者
  - b. 大学共同利用機関法人国文学研究資料館共同研究員(テーマ「開化期戯作の社会史的研究」および基幹研究「十九世紀の出版と流通」)
  - c. 日本文学協会委員(2006年度)

#### 山本幸男

1. 「摂津国府遷建と難波地域ー天長二年の施策をめぐるー」栄原永遠男・仁木宏編『難波宮から大坂へ』大阪叢書2、和泉書院 2006年3月
  2. 「玄昉将来經典と「五月一日経」の書写(上)」『相愛大学研究論集』22巻 2006年3月
  3. 「二〇〇五年の歴史学界・回顧と展望ー古代・九(史料)」『史学雑誌』115-5. 2006年5月
  4. 「書評:直木孝次郎著『日本古代の氏族と国家』」『週刊読書人』2006年5月12日号
  5. 「書評:西洋子・石上英一編『正倉院文書論集』」『日本歴史』702 2006年11月
  6. 相愛大学公開講座「奈良朝貴族の仏道修行」津村別院 2006年10月1日
- \*主な研究課題:
- a. 写経所文書の復原的研究。「書評:宮崎健司『日本古代の写経と社会』」を執筆。『日本史研究』に掲載予定。
  - b. 奈良朝仏教教学史の研究。「『華嚴経』講説を支えた学僧

たち－正倉院文書からみた天平十六年の様相－」を執筆。『南都佛教』87号に掲載予定。

c. 古代難波地域の実態的研究

## 【人間発達学部】

岩 口 摂 子

1. 「幼児の旋律認知に関する一考察 (2)」『宮城学院女子大学発達科学研究第 6 号』pp. 1-7, 宮城学院女子大学附属発達科学研究所 2006 年 3 月
  2. 「延長保育における子育て観について」『宮城学院女子大学研究論文集第 102 号』pp. 31-45 2006 年 3 月
  3. 学会発表「子どもの歌唱場面における一考察 (4)－幼児はどのように音階の異なる旋律を感じ取るのか－」日本保育学会第 59 回大会
  4. 学会発表「幼児の歌の再生について」日本保育学会第 59 回大会
- \* 主な研究課題：a. 幼児の音楽的発達に関する基礎研究  
b. 保育者養成における音楽教育の基礎研究

岩 堂 美智子

1. 「津守式乳幼児精神発達質問紙」氏原寛他編『心理査定実践ハンドブック』創元社 2006 年 24-27
2. 「キャンパス・セクシュアル・ハラスメントを考える－防止・相談・解決のための基本的視点－」大阪市立大学人権問題研究センター編『人権問題研究』No. 6 2006 年 5-10
3. 監修『ともに育つ子どもとおとなの応援誌 いろいろ』Vol. 22-25 大阪市立子育ていろいろ相談センター発行 2006 年 各誌 6 頁
4. 学会発表「互いが楽しみ安心できるつながりを地域につくる－大阪市におけるファミリー・サポート・センター事業から－」日本保育学会第 59 回大会発表論文集 2006 年 5 月 214-215
5. 学会発表「「都市ひとり暮らし」高齢者に試みたエンカウンターグループの意義と課題」日本コミュニティ心理学会第 9 回大会発表論文集 2006 年 7 月 47-48
6. 講演「子育て・親をめぐる現状と課題」大阪府教育委員会地域教育振興課主催：親学習リーダー養成講座 2006 年 6 月 2 日、10 月 30 日
7. 講演「家庭の教育力と子育て支援の課題」大阪府教育委員会・健康福祉局

児童福祉課共催：就学前人権教育研修 2006年6月7日

8. 講演「地域子育て支援—子育て支援に求められるもの—」大阪府保育部会  
北大阪ブロック会主催：第1回子育て支援研修会 2006年7月12日

太田美穂

1. Enzymatic properties of human CYP 2W1 expressed in *Escherichia coli*. : *Biochem Biophys Res Commun.* 345 (2006) 169–174.
2. Structure-function analysis of vitamin D 24-hydroxylase (CYP 24 A 1) by site-directed mutagenesis: amino acid residues responsible for species-based difference of CYP 24A1 between humans and rats. : *Mol Pharmacol.* 70 (2006) 120–128.
3. 「APCI(大気圧イオン化)–LC/MS法を用いた発酵中のテンペイソフラボンの分析」『甲子園短期大学紀要』24 2006年 1–7
4. 「テンペの物性と調理教育教材への応用について」『甲子園短期大学紀要』24 2006年 63–66
5. Elevated Cardiac Tissue Level of Aldosterone and Mineralocorticoid Receptor in Diastolic Heart Failure: Beneficial Effects of Mineralocorticoid Receptor Blocker. : *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol.* 2006 Oct 5
6. 学会発表「シトクロム P 450 による 25(OH)–19–ノルおよび 1 $\alpha$ , 25(OH)<sub>2</sub>–19–ノルビタミン D 3 の代謝」日本ビタミン学会 第 58 回大会 (平成 18 年度) ビタミン 80 4 2006 年 224
7. 学会発表「テンペの発酵による色の変化」日本テンペ研究会 平成 18 年度春季大会 2006 年 6 月
8. 学会発表「テンペの発酵時間ともなう色調の変化と調理への応用について」日本調理科学会平成 18 年度大会 2006 年 9 月
9. 学会発表「女子学生の食品摂取頻度と保健行動の関連性」第 53 回日本栄養改善学会学術総会 2006 年 10 月
10. 学会発表「食育と食教育の用語についての一考察」日本家庭科教育学会第 37 回近畿地区会 2006 年 12 月
11. 栄養情報発信講座「これだけは知っておきたい栄養の基礎知識」大阪府健康科学センター 2006 年 9 月 9 日 (平成 18 年度大阪府民対象公開講座 講師)
12. 食べて防ぐ生活習慣病「無塩発酵大豆テンペを中心として」平成 18 年度大

学連携「ひょうご講座」兵庫県立神戸学習プラザ 2006年10月12日  
(平成18年度兵庫県民対象公開講座 講師)

- \*主な研究課題：a. ミネラルコルチコイドの代謝と病態
  - b. シトクロム P 450 によるビタミン D の代謝と新たな生理作用
  - c. 無塩大豆発酵食品 Tempe の機能性評価
  - d. 食育について
- \*主な活動：a. 日本生化学会 評議員
  - b. 日本栄養改善学会 評議員
  - c. 日本テンペ研究会 常任役員
  - d. 日本テンペ研究会平成18年度春季大会 世話人(大会長)  
平成18年7月 相愛大学
  - e. 日本調理科学会 近畿支部委員

川 中 美津子

1. 「梅田都心における消費者文化の担い手としての3百貨店の役割(1)ーファッション美学的アプローチ」(共同研究者、宮武恵子、菅原正博)『ファッションビジネス学会論文誌 vol. 11. 2006年3月、115~124。
2. 「梅田都心における消費者文化の担い手としての3百貨店の役割(2)ーデマンド・チェーン・アプローチ」(共同研究者、宮武恵子、菅原正博)『ファッションビジネス学会論文誌 vol. 11. 2006年3月、125~135。
3. 口頭発表「ファッション消費者行動におけるエモーショナル(快樂的)要因の位置づけ：かわいい論的考察」(共同研究者、宮武恵子、菅原正博)ファッションビジネス学会 全国大会ー西日本支部創立10周年記念ー 2006年8月26日 香蘭ファッションデザイン専門学校
4. 口頭発表「ファッション・メディアにおけるコンテンツ表現ーかわいい論を基盤にしてー」(共同研究者、菅原正博、宮武恵子)ファッションビジネス学会 全国大会ー西日本支部創立10周年記念ー 2006年8月26日 香蘭ファッションデザイン専門学校
5. 口頭発表「アウトサイドイン志向のファッション・ブランディング：ファッション広報・広告におけるクリエイティブ戦略のあり方」(共同研究者、宮武恵子、菅原正博)ファッションビジネス学会 全国大会ー西日本支部創立10周年記念ー 2006年8月26日 香蘭ファッションデザイン専門学校
6. 口頭発表「団塊世代がつくる次世代高齢層のニューライフモデル考察」(共

同研究者、豊田哲夫、針木文、早川雅明、橋喬子) ファッションビジネス学会 全国大会 -西日本支部創立 10 周年記念- 2006 年 8 月 26 日 香蘭ファッションデザイン専門学校

塩 見 邦 雄

1. (編著)「対話で学ぶ認知心理学」ナカニシヤ出版 2006 年
2. 「日本語版教師効力感尺度 (TES) の作成の試み-中国語版 教師効力感尺度との比較を通して-」教育実践学研究、第 8 巻、第 1 号、35-42. [本論文で、2006 年度「日本教育実践学会研究奨励賞」を受賞]
3. 「中国教師の「教師有能感」への影響要因についての研究」応用教育心理学研究、第 22 巻、第 1 号、3-8.
4. Bear, G. G., Manning, M. A., & Shiomi, K. 「Children's reasoning about aggression: Differences between Japan and the United States and implications for school discipline」*School Psychology Review*, 2006, 35(1), 47-61.
5. 学会発表 日本教育心理学会、日本発達心理学会、などで発表  
\*学会活動：日本応用教育心理学会理事長・日本教育実践学会会長・日本教育心理学会常任理事・学会連合資格「学校心理士」認定機構事務局長  
\*主な学外活動：華南師範大学客員教授 (中国)  
内蒙古師範大学客員教授 (中国)

原 佳央理

1. 「子ども虐待ケースの援助に携わる児童福祉司のための Web Site 型トレーニングツールの開発的研究：叩き台の作成とその評価」『子ども家庭福祉学』第 5 号、pp. 23-35、共著、2006 年 2 月
2. 「子ども虐待ケースの援助に携わる専門家の意思決定の特徴：児童相談所の熟練した専門家の IF-THEN ルールの分析を通して」『関西学院大学社会学部紀要』第 101 号、pp. 127-136 2006 年 10 月
3. 「児童養護施設におけるファミリーソーシャルワーカーの役割分析：エキスパートインタビューの分析を通して」『子ども家庭福祉学』第 6 号、pp. 13-22、共著、2006 年 11 月
4. 「児童養護施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する研究：ファミリーソーシャルワーク実践に関する実態調査報告 1：単純集計結果から

の考察」第7回日本子ども家庭福祉学会（於大正大学）、共同発表、2006年6月

5. 「児童養護施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する研究：ファミリーソーシャルワーク実践に関する実態調査報告2：因子分析結果から見るファミリーソーシャルワーカーの役割」第7回日本子ども家庭福祉学会（於大正大学）、共同発表、2006年6月
  6. 「児童福祉施設におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する研究：乳児院におけるファミリーソーシャルワーク実践に関する実態調査からの考察」第12回日本子ども虐待防止学会（於仙台国際センター）、共同発表、2006年12月
- \*主な研究課題：a. 子どもの虐待ケースに携わる福祉専門職のトレーニング  
b. 社会福祉実践モデルの開発
- \*主な学外活動：社団法人日本社会福祉士会 子ども家庭支援委員会委員

#### 宮原 公子

1. 講演「わくわく食べ物教室－元気な大人になるために－」落合市立草加部小学校 PTA 親子学習会（講師）2006年2月
  2. 講演「食育における高齢者の役割」井原市美星町長寿学級（講師）2006年7月
  3. 講演「食育のすすめ －すこやかな子ども達の未来のために－」岡山県中学校教育研究大会 2006年8月
  4. 栄養情報発信講座「食の情報ウソ・ホント!? 食生活に上手に活かしましょう 栄養知識」相愛大学 人間発達学部公開講座（講師）2006年10月
  5. 学会発表「栄養教諭免許履修学生が立案する食に関する指導計画－栄養マネジメントに基づく教育マネジメント－」第53回 日本栄養改善学会 2006年10月
  6. 学会発表「児童生徒の食生活実態調査結果から見る食に関する指導の方策」第53回日本栄養改善学会 2006年10月
- \*社会活動：a. 岡山県栄養士会 栄養サポート委員  
b. 特定非営利活動法人 食べて元気しあわせネットワーク設立委員  
c. 川崎フードモデル 食育教材アドバイザー

村 井 陽 子

1. 「三食を楽しく食べること」と健康・学習意欲との関連性、日本家政学会関西支部 第28回研究発表会講演要旨集、p. 16 2006年
  2. 「小学生の豆類摂取を促す指導の教育効果および豆等の摂取頻度と児童の健康状況の関連」第5回日本栄養改善学会近畿支部学術総会講演集 p. 41 2006年
  3. 「小学生の豆類摂取を促す指導の教育効果および豆等の摂取頻度と児童の健康状況の関連」日本食生活学会誌 17(3)、231-238 2006年
- \* 主な研究課題：a. 児童やその家庭に対する伝統的な食材の継承  
b. 伝統的な食材の摂取頻度と児童の健康状況の関連